

JPTA NEWS

2026.08
No. 362

特集 |

私たちが築く未来へのレール
協会の目指す未来と取り組み

2025年度事業報告 # 2026年度事業計画

お役立ち情報

| 定款改正、その内容は? |



公益社団法人

日本理学療法士協会

Japanese Physical Therapy Association

私たちが築く未来へのレール
協会の目指す未来と取り組み



会報誌「JPTA NEWS」へのご意見・ご感想を募集しています。

右記のQRコードを読み取り、アンケートフォームからご回答ください。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



私たちが築く未来へのレール

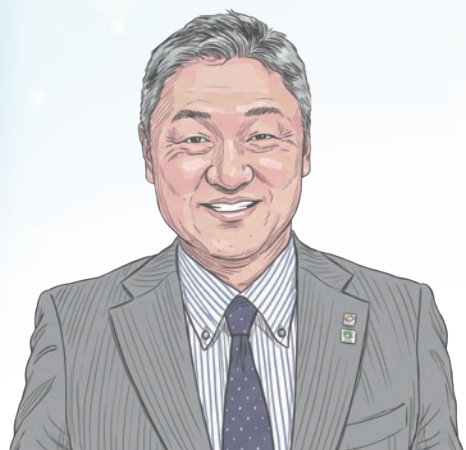
協会の目指す未来と取り組み

2026年6月6日(土)・7日(日)の2日間にわたる総会が終了しました。総会では、協会が実施した2025年度の事業報告が行われ、また決算書類について、会員の代表である代議員から承認を頂きました。

とはいえ、会員の皆さんには協会がどのような事業に取り組んでいるか、なかなか伝わりづらいもの。そこで本号では、協会の活動を会員の皆さんにご理解いただくため、2025年度事業報告と2026年度事業計画を中心にをご紹介します。

まずは協会を代表する会長のメッセージからどうぞ！

Top Message



会長 斉藤 秀之

2025年度の歩みを礎に、2026年度のさらなる飛躍へ

会員の皆さんにおかれましては、日頃より本会の活動に多大なるご協力をいただき、心より御礼申し上げます。今回は2025年度の総括と2026年度の展望をお伝えいたします。

2025年度は、診療報酬改定や国政選挙など政策環境が激変する中、理学療法士の地位向上と専門性の適切な位置づけを目指し、関係各所へ全力で働きかけを行いました。また、「World Physiotherapy Congress 2025」に続き「第60回日本理学療法学術研修大会」を連続開催し、これまで積み重ねてきた日本の理学療法の実践・研究・協会活動の成果を国内外へ力強く発信できたことは大きな成果です。本会の礎を築かれた奈良 勲・中屋 久長両元会長の逝去という深い悲しみもありましたが、先人の志を次世代へ継承する決意を新たに、次なる時代を見据えた組織運営体制の整備を進めてまいりました。

創立60周年を迎える2026年度は、将来へのさらなる飛躍を遂げるため、新たな事業計画を強力に推進します。

少子高齢化や労働力不足が進む中、理学療法への社会的期待はかつてないほど高まっています。今年度は「選択と集中」のもと、厚生労働省内の「リハビリテーション統括調整室」の設置による強みと機会を活かし、4年制大学化や生涯学習の充実による「キャリアデザイン支援」に注力します。さらに、全世代の健康を支える「公衆衛生分野の構築」、フレイル・認知症予防、スポーツ・産業保健領域での「自律性向上」を進めます。特に「攻めの予防医療」や「理学療法士法見直し」を見据えた政策提言、処遇改善と社会的地位の向上に邁進する所存です。

あわせて、先日の定時総会でのご意見を厳粛に受け止め、ワンチームで重要課題に向き合い、ワンボイスで私たちの想いを発信していくことに努めてまいります。

理学療法士唯一の全国組織として「尊厳ある自立とくらしを守る」という理念を胸に、国民の健康と会員の皆さんの確かな未来のために一丸となって前進を続けます。今後ともいっそうのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025 BIG PROJECT

本会創立60周年の節目であり、また、社会環境の変化への対応としても大きな取り組みを実施・実現できた2025年度の事業から2つ、紹介します！

日本で開催されるのは
1999年の横浜での開催以来2回目！

World Physiotherapy Congress 2025開催

2025年5月29日(木)～31日(土)の3日間、「World Physiotherapy Congress 2025」が東京国際フォーラムで開催されました。世界111の国と地域から4,500名を超える専門家が集まり、最新の研究や教育、臨床の話題に加え、多様性や環境への配慮など、幅広いテーマについて意見交換が行われました。

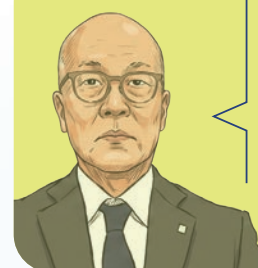
本会は開催国として、主催者であるWorld Physiotherapyとともに、会場管理会社や行政機関といった関係各所との調整や、国内での広報活動支援などを行ないました。この取り組みが認められ、2026年2月には、日本政府観光局(JNTO)主催の「国際会議誘致・開催貢献賞」を受賞しました。

Message

国際事業担当理事より

副会長 大工谷 新一

World Physiotherapy Congress 2025の東京開催は、日本の理学療法士が世界と直接つながり、その成果や実践を発信する貴重な機会となりました。また、多くの会員が国際的な知見や多様な価値観に触れることで、理学療法の新たな可能性を実感できた大会であったと考えています。本会としては、この成果を一過性のものとせず、国際学術交流の促進、人材育成、アジア・太平洋地域との連携強化を通じて、わが国の理学療法士のさらなる発展と国際貢献につなげてまいります。



JAPANブース
スタッフからの
メッセージを
6ページに掲載！

第60回日本理学療法学術大会

第60回日本理学療法学術大会は、World Physiotherapy Congress 2025と連続して2025年5月31日(土)・6月1日(日)に開催されました。「総合知を推進する臨床技能・社会的課題の解決を目指す-」をテーマに、斉藤大会長のもと、全国8ブロックから集結した準備委員の皆さんが一丸となり、創立60周年を記念するにふさわしい大会となりました。

対面参加申込者 **2,382人**

オンデマンド参加申込者と合わせて **5,996人**



第61回(福岡・開催済み)、第62回(福島、2027年5月22日・23日開催)、第63回(福井、2028年5月13日・14日)とその成果は引き継がれていきます！

国への働きかけが成果に！

「リハビリテーション専門職の処遇改善調査」を実施し、処遇改善の実施状況をデータで示し、関連団体や組織代表議員と連携しながら、政府に要望を行ってまいりました。その結果、令和7年度補正予算における「医療・介護等支援パッケージ」や診療報酬改定における令和8年度、令和9年度平均1.70%の賃上げ分を含む、3.09%の改定率の引き上げなど、理学療法士の処遇改善につながる成果を達成することができました。理学療法士が専門性に見合った評価を受け、安心して働き続けられる環境づくりにつながる重要な一歩となりました。

また、処遇改善以外にも、以下のような制度改革や取り組みにより、社会における理学療法士の活躍が評価され、よりいっそう、その活躍が期待されるようになりました。

・災害救助法施行令への「理学療法士」の明記

・スポーツ庁「U-SPORT PROJECT」

コンソーシアムへの加盟承認 ▶

https://www.japanpt.or.jp/info/20260227_838.html

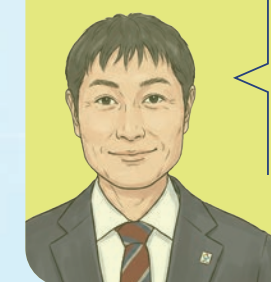


本会は、これからも国民の医療・保健・福祉の増進と、理学療法の発展や充実、処遇改善などに働きかけていきます。ぜひ会報誌の特集やホームページの情報をご活用ください。

Message

政策企画・職能推進担当理事より

副会長 佐々木 嘉光



全国の理学療法士に安定した生活と処遇が得られ、働きがいを持って業務に専念できる環境と、日本のどこに住んでいても、誰もが一定レベル以上の理学療法士の支援を受けることができるようにすることを念頭に事業に取り組んでいます。2026年5月には、厚生労働省にリハビリテーション統括調整室が設置され、国も理学療法士の役割に大きな期待を寄せています。今後も、会員の皆さんが将来に希望を持てる職能の発展に取り組みます。

2025年度の 取り組みを振り返る

1年間、
どんな取り組みをしたのか、
ピックアップしてご紹介！

TOPIC 1 より生涯学習制度を活かすための見直し

2022年度に開始した現在の生涯学習制度について、より多くの会員が無理なく学び続けられる制度を目指し、利便性向上と学習機会拡大の観点から見直しを進めています。

【2025年度の主な見直し内容】

- ・後期研修のE領域別研修(事例)の症例検討会について、日本理学療法士協会主催のものが追加されました。
- ・登録理学療法士更新において、同一カリキュラムコードで取得したポイントについて、高いポイント数への上書きが可能となりました。
- ・日本理学療法学会連合の会員団体が主催する事業を履修付与対象とする項目が追加されました。

2026年度以降は、2029年度の制度改定を見据え、eラーニングの内容を大幅に見直し、学び続けやすい環境を整えます。「学びやすさ」と「質の担保」の両立をさらに強化していきます。

理学療法士向けホームページ > 生涯学習 > 生涯学習制度について > 生涯学習制度の見直し

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/minaoshi/>

教育推進担当理事より

副会長 湯元 均



現在、2029年度以降の生涯学習制度のあり方について見直しを進めています。特に登録理学療法士制度は、メインターゲットであるZ世代の特徴を勘案し、自身が学びたいことを中心に学べたうえで、5年以内に幅広い基礎的な理学療法が実施できる人材育成に資する内容とすることを目指しています。また、登録理学療法士更新のためのポイント制と認定・専門理学療法士更新のための点数制を一本化して、努力している人を後押しできるような制度へ変更する予定です。認定・専門理学療法士制度についても、より質を高めるための方策について、部会で検討いただいているところです。今後、部分的にでも公開できる段階になりましたら、速やかに情報開示してまいります。



2025年度 各種資格取得者数

登録理学療法士 **64,321**人 (取得率61.1%)
認定理学療法士 **16,473**人
専門理学療法士 **1,855**人

TOPIC 2 卒前と卒後をつなぐための教育の取り組み

重点事業「専門職としてのキャリアデザイン支援」として、養成教育と卒後教育の連続性を意識した教育体系の検討を進めています。

・理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の見直し

指定規則は、養成教育において、全国どこでも一定以上の教育水準を担保することを目的としています。理学療法士に求められる役割の拡大や医療の高度化に対応させるため、日本作業療法士協会、全国リハビリテーション学校協会との間で丁寧に協議し、改正案を作成しました。現在、カリキュラム等改善検討会の開催を求めて国との調整を行っています。

・4年制大学化推進事業

国際的には4年以上の教育が主流であり、理学療法士に求められる能力の高度化にも対応するため、将来を見据えた教育改革として取り組んでいます。2026年3月8日に4年制大学化推進部会シンポジウムを開催しました。参加者アンケート結果を会員限定で公開しています。

養成教育関連担当理事より

専務理事 白石 浩



理学療法士に求められる役割が高度化・多様化する中、「指定規則改正」と「4年制大学化」は、理学療法士の質向上と社会的地位確立に不可欠な意義を持ちます。現在、関連三団体に総単位数増加やOSCE導入等の指定規則改正案に合意し、今後は厚生労働省への調整を進めていきます。4年制大学化は法改正という高いハードルはありますが、国際標準の教育体制構築に向け、引き続き関係省庁等への要望活動を行いながら、粘り強く協議と機運醸成を続けてまいります。

TOPIC 3 理学療法士業務の明確化に向けた取り組み

重点事業「全世代の心身機能を支える理学療法業務の強化」の一環として、理学療法士業務の明確化に向けた検討を進めました。診療の補助業務の整理だけでなく、公衆衛生や予防分野における理学療法士の役割についても、法的観点や関係団体との協議を踏まえながら整理を進め、国民に安全で質の高い理学療法を提供するための基盤整備に取り組みしました。

TOPIC 4 健康づくりとしてのスポーツへの取り組み

重点事業「地域におけるリハビリテーションと健康づくりを支える理学療法士の自律性向上」の一つとして、スポーツ事業に取り組み、多くの成果を出すことができました。

本会の取り組みをホームページにて紹介しています。

トップページ > 協会の取り組み > スポーツ支援について
<https://www.japanpt.or.jp/activity/sports/>



- ・第4期基本計画に係るスポーツ審議会スポーツ基本計画部会の関係団体ヒアリングへの参加
- ・来場者42,380人のSPORTEC2025でのセミナーをスポーツ庁担当官とともに実施
- ・第36回日本臨床スポーツ医学会学術集会において、シンポジウムにスポーツ領域業務推進部会部会長が登壇

TOPIC 5 組織としてより強く結束するために

重点事業「本会事業を支える組織基盤の強化」の一つとして、入会促進・会員定着施策に取り組んでいます。入会促進においては、学術・職能団体としての本会の役割や生涯学習の重要性などについて、養成施設の学生にも、在学中から卒業・就職に至るまで継続的な広報活動を行っています。

また、休会制度の見直しについて検討し、2027年度以降の休会申請より、運用を変更することを決定しました。本見直しは、休会中の会員にかかる費用負担について、在会中の会員との公平性を確保し、かつ、協会事業を持続可能な形で運営することなどを目的に行われました。

【休会制度の主な変更点】

- ・休会手数料(1,000円(税別))の徴収
- ・次年度の休会について未申請の場合の自動的な復会

未入会の理学療法士にぜひ
このURLをご案内ください！

理学療法士の方向けトップページ > 入会案内
https://www.japanpt.or.jp/pt/privilege_guide/



理学療法士の方向けトップページ >
協会からのお知らせ > 各種手続き > 休会申請
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/02/>



2025年度には、60周年記念事業として

様々な取り組みも実施されました。

60周年記念サイトにて紹介していますので、
ぜひご覧ください。

60周年記念サイト

<https://www.japanpt.or.jp/60th/>



にこるくんLINEスタンプを多くの方にご利用いただき、収益18,592円を国立成育医療研究センター 医療型短期入所施設「もみじの家」基金に寄付しました。LINEスタンプは今後も使用できますので、ぜひご愛用ください。





会員とともに進む協会へ

事業に参加した会員からのメッセージを紹介します！



森 優香さん

Mori Yuka



U40 Future Network部会メンバーより

学生時代、理学療法学生協会(JPTSA)に所属し、全国の熱意のある学生とつながり、イベントを自分たちで開催することにやりがいを感じていましたが、臨床に出るとこのような機会が減ることに寂しさを感じていました。そんな中、新設されるU40部会の公募を知り、この思いをぶつけられるとすぐに応募を決めました。

部会へは2024年度より参加し、野崎部会長を中心に吉井副会長、メンバー全員でミーティングを重ね、部会の構想を形に変えていく経験をさせていただきました。昨年度には「リーダーサミット」と「ネットワークカフェ」の2事業を計5回開催、学生から50代の方まで参加いただき、若手のキャリア支援や情報交換の場を提供することができました。

私は「熱意の向け先がわからない若手を減らすこと」と「協会の身近に感じてもらうこと」を目標として活動してきましたが、実際に参加者から「つながりができた」「協会が身近になった」との声を頂けたことは大きな一歩だと感じました。

周りからは「協会のメリットがわからない」と聞くこともありますが、この活動を通じ、小さな声でも協会を良くする力になると実感し、自信にもなりました。背景は違えど「目の前の患者様を救いたい」という思いで理学療法士を目指した点は全員共通のはずです。同じ思いを持つ者同士が団結できることこそが協会の最大のメリットであり、社会を変える力となります。そして、協会を支えるのは会員一人ひとりの声です。その声をぶつけられる場が広がっていくよう、今後も活動を続けていきます。



芹澤 圭哉さん

Serizawa Keiya



World Physiotherapy Congress 2025 JAPANブーススタッフより

私は海外での活動に関心があり、将来的には国際学会で発表したいと考えていました。そのため、東京で開催されるWPC2025の雰囲気を実際に感じるとともに、英語を使って海外の方々と交流したいと思い、スタッフに申し込みました。

当日は、海外からの来場者に日本文化を体験していただく展示ブースで、フォトブースや法被(はっぴ)を着用しての写真撮影、カタカナのネームシール作成、折り紙体験などの案内を行いました。私は主に、折り紙の作り方を説明する役割を担当しました。

異なる文化を持つ方々と英語で話すことには少し不安もありましたが、折り紙という共通の体験を通して、自然に交流することができました。この経験から、一つの体験を共有することで、言語や文化を超えてつながることができることを実感し、理学療法を通じた国際交流にも通じると感じました。また、日本文化を知る方が多かったことから、自分自身も日本への理解を深め、伝えられるようになる必要があると感じました。

今回が協会による事業への初めての参加でした。これまでは少しハードルを感じていましたが、実際に参加して貴重な経験をすることができ、今後も機会があれば積極的に参加したいと思いました。今回の経験は、理学療法を国際的な視点から考えるきっかけとなり、その後に参加した17th ACPT Congressでの発表や交流にも活かすことができました。今後も国内外で学び、発信する機会を大切にしていきたいと思っています。

本会の事業は、委員やスタッフとして参加いただいている方はもちろん、アンケートやパブリックコメントなどで寄せられるご意見など、多くの会員に支えられて進められています。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！

活用しよう！

2025年度事業から お役立ち情報をピックアップ



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が
専門性を発揮して
病棟において協働する体制
(看護・多職種協働加算)の実践指針

令和8年度診療報酬改定で創設された「看護・多職種協働加算」。会報誌6月号でも紹介していますが、その適切な運用に資することを目的として、リハビリテーション専門職団体協議会から発出された実践指針を掲載しています

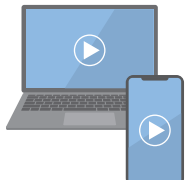


会員限定コンテンツ > 政治・渉外活動 >
医療保険・介護保険・障害福祉サービス(報酬改定)
<https://www.japanpt.or.jp/privilege/politics/insurance/>



令和7年度 急性期理学療法推進フォーラム
アーカイブ動画・事例集

令和6年度診療報酬改定および新たな地域医療構想を踏まえ、急性期リハビリテーションのさらなる推進を図るため、2026年2月11日に開催した「急性期理学療法推進フォーラム」にて紹介された8つの事例の動画・資料を公開しています。



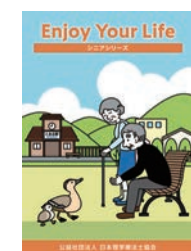
※令和8年度報酬改定の内容は反映されておりません。

会員限定コンテンツ > 職能事業 > 働き方と職場管理 >
管理者ネットワーク中央研修会動画
<https://www.japanpt.or.jp/privilege/profession/workstyle/administrator/>



情報誌「Enjoy Your Life」全4巻発行

「いきいきと生きることを支える理学療法」をコンセプトとした、ライフステージごとに国民の疾病予防・健康増進に関する情報誌について、「ウィメンズ・メンズシリーズ」「シニアシリーズ」の2巻を新たに発行しました。1部22円(税込み)で販売していますので地域の取り組みなどでご活用ください。



トップページ > 理学療法士を知る > 理学療法とは >
理学療法を知るツール > Enjoy Your Life
https://www.japanpt.or.jp/about_pt/therapy/tools/enjoyyourlife/



公式Instagramを開設

2025年10月に開設した公式Instagramは、XやFacebookに比べ、カジュアルな投稿と最新情報に限定しないお役立ち情報を目指して運用しています。



ぜひフォロー
してください！

公式Instagram
https://www.instagram.com/jpta_for_members/



2026年度の重点目標と重点事業を知ろう!

今
Present



未来
Future

協会が何を
目指しているのか、
事業計画からご紹介!

中核事業として恒常的な3つの重点目標

●理学療法士の質の向上

●理学療法士の職域の拡大と防衛

●組織運営の強化



●公的保険・法定理学療法分野の強化・充実

●生涯学習制度のそれぞれの認証を理学療法士の職域の強化と拡大につなげる活動の強化

●訪問リハビリテーションの開設要件の拡大

2026年度の重点目標

●アクセスしやすい理学療法の提供

●理学療法の質向上

●質の高い人材確保

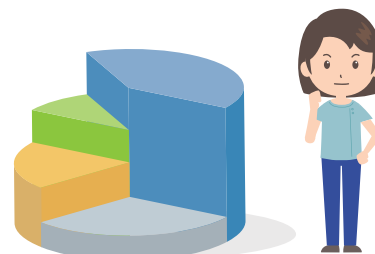
●会員サービスの強化(賛助会員含む)

●組織運営体制の強化(協会組織・事務局組織全体)

公益社団法人としての
中長期計画で提示した
5項目を挙げているよ。



<https://www.japanpt.or.jp/about/plan/>



さらに、国の「骨太の方針2025」や
本会の「第54回定時総会」での提案などを踏まえて事業計画を作成!

2026年度重点事業

I

専門職としてのキャリアデザイン支援

理学療法士一人ひとりが長期的なキャリア形成を描ける環境づくりを進めます。
キーワード:生涯学習制度、指定規則改正、卒前卒後シームレス化、4年制大学化、適正な報酬改定と処遇改善

短期間で早急に成果を出す
必要性の高い事業、
優先的に取り組むべき
事業をピックアップ!

II

全世代の心身機能を支える理学療法業務の強化と推進

医療・介護だけでなく、予防や健康づくり領域まで理学療法士の役割拡大を目指します。
キーワード:公衆衛生等理学療法業務構築・検討

III

地域におけるリハビリテーションと健康づくり・予防を支える理学療法士の自律性の向上

地域包括ケアや健康寿命延伸への貢献を強化します。
キーワード:公的保険領域、産業保健領域、高齢者に対する取り組み、スポーツ、学校保健

IV

組織基盤強化

会員サービス向上と政策実現を支える組織づくりを進めます。
キーワード:入会促進、会員定着促進、制度・規程等の見直し、情報配信

2026年度重点課題

前年度から継続している事業

●4年制大学化推進部会

●公衆衛生等理学療法業務構築・検討部会

●指定規則等改正検討事業

●「処遇改善」に係る事業

●「災害支援」に係る諸規定の整備事業

数か年で実現に向けての取り組みが
現実的な事業をピックアップ!

2026年度に新たに加えた事業

●組織の説明責任・制度の
運用改善に対応する事業

政策提言・要望活動のために

●士会からの事業提案、学会や連盟との連携、会員や関係団体の意見や要望にいっそう耳を傾けます。

●理学療法士に関するシンクタンクの機能(課題分析・提言)とロビー活動(政策決定者への働きかけ)を強化していきます。

●政策活動の情報共有および政策提言人財育成事業をよりいっそう重視します。

2026年度 事業を知ろう!

2026年度も様々な事業に取り組んでいきます。
気になるトピックがあれば、本会ホームページにて詳細をご確認ください。



職 能

令和8年度診療報酬改定に関する情報や動画の配信を行っています。

慢性心不全に対する再入院予防(チーム)の取り組みを公開しました。今後、公的医療機関における土曜・休日リハ体制の取り組み、包括期における専従療法士による柔軟な働き方について、看護・多職種協働加算取得における多職種協働の取り組みについて、等の動画を公開予定です。

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/profession/seminar/sss/>



令和9年度介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定に向けて取り組んでいます。

令和7年度に報酬改定に向けた本会方針を策定し、これまで要望の作成や関連団体との検討を重ねてまいりました。厚生労働省担当課への要望提出は令和8年の夏頃を予定しています。本会方針の掲載先は以下となります。

会員限定コンテンツ > 政治・渉外活動 > 医療保険・介護保険・障害福祉サービス(報酬改定)

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/politics/insurance/>



職 能

職場における腰痛予防宣言、2026年度も実施します! ぜひご参加ください。

2025年度実績 | **Champion Stage** 94施設 金 59施設 銀 106施設 銅 246施設

会員限定コンテンツ > 職能事業 > 健康づくり・予防活動・保健事業 > 腰痛予防事業

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/profession/healthpromotion/youtsuu/>



産業保健・人間工学推進リーダー制度、母子保健推進リーダー制度のうち、メンバー制度がスタートしています。

会員限定コンテンツ > 職能事業 > 職能研修

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/profession/seminar/>



政策企画

国や関係団体への要望活動、意見交換を行い、アドボカシー活動に取り組んでいます。

その取り組みは会報誌の「未来のために!一人ひとりのアドボカシー活動」のコラムのほか、本会ホームページの政策活動レポートでも随時、情報を発信しています。たとえば、第4期スポーツ基本計画の「中間報告案」に理学療法士が明記されたことなど、タイムリーな情報を掲載しています。

トップページ > 協会の取り組み > 政策活動レポート・要望等

<https://www.japanpt.or.jp/activity/procedure/>



生涯学習

会員が「必要な学びに迷わずアクセスできる」環境づくりを進めています。

制度全体の見直しを進めるとともに、eラーニングの内容も2027年度に向けて見直します。また、年4回の発行の「協会雑誌Up to Date」、2026年度のテーマは、バラスポーツ、卒後教育、第61回日本理学療法学会学術研修大会 特集号、理学療法を取り巻くDX化の最前線を予定しています。学びが日々の実践に直結する情報提供を目指します。

理学療法士の方向けトップページ > 生涯学習 > 日本理学療法士協会雑誌 Up to Date

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/uptodate/>



広 報

理学療法をもっと身近に、もっと伝わる広報へ。理学療法の価値を、会員・国民へ届けます。

2026年度版ポスターには佐藤弘道さんを起用! 次年度以降も著名人を起用します。また、「理学療法士ガイド」や情報誌「Enjoy Your Life」に加え、SNSやオウンドメディア「リガクラブ」を活用し、理学療法の魅力や最新情報などを会員・国民の皆さまへ継続的に発信します。分かりやすくタイムリーな情報発信に努め、協会活動をより身近に感じいただき、理学療法(士)の価値と期待をさらに広げていきます。

国 際

各方面と協働して、理学療法士の国際的な活躍を支援しています。

グローバルプロジェクト運営部会のもと、国際社会で活躍する理学療法士の支援や情報発信などに取り組んでいます。また、JICA(国際協力機構)と合意書を締結し、カンボジアへの理学療法士派遣を支援しています。

理学療法士の方向けトップページ > 国際事業 > 国際活動で活躍したい方

<https://www.japanpt.or.jp/pt/international/workandstudyabroad/>



定款改正、その内容は？

第55回定時総会では、定款改正について、その理由ごとに決議を取るため、15題にわけて審議を行いました。ここでは、その中からいくつか改正事項をピックアップしてご紹介します。改正事項をすべて確認したい場合は、議案書やダイジェスト版をご覧ください。



議案書URL <https://www.japanpt.or.jp/privilege/management/minutes/>

○会員資格得喪に係る条文内容の定款細則から定款への移動のための変更

【取得】

第5条 この法人の会員は、次の二種とする。

(1) 正会員 理学療法士及び作業療法士法(昭和40年法律第137号)第3条の規定による理学療法士の免許を有する者(国内に在住する者については、都道府県理学療法士会に所属する者に限る。)で、この法人の目的に賛同した者

変更箇所: 定款細則廃止に伴い、下線部を追加

【喪失】

第10条 前2条の場合のほか、会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する

(1) 会員(当年度に入会した会員を除く。)が第7条の支払義務を当該年度の6月末日までに履行しなかったとき
(第2号～第4号 省略)

(5) 正会員において、都道府県理学療法士会における会員たる身分を失ったとき
変更箇所: 定款細則廃止および休会制度変更に伴い、第1号は下線部を変更、第5号は追加

○法令に抵触する恐れのある文章削除のための変更

第21条第2項

会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。また、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長は、あらかじめ理事会の決議により定めた順位により、会長の職務を代行する。

変更箇所: 色付き部分を削除。

○重要な機関を掲載するための変更

第28条第1項

第28条 この法人に、若干名の顧問、相談役及び政策参与を置くことができる。

変更箇所: 政策参与も、顧問・相談役同様に重要な機関であるため、名称を追加。

(補足説明) 政策参与は、理学療法士、かつ、国会議員で日本理学療法士連盟により組織内候補者として本会に通知され、かつ、本会会長が同意した者について、理事会の決議を経て選任されます。

第34条

常任理事会は、会長、副会長及び専務理事を構成員とし、次の事項について協議・検討する。なお、常任理事会は法令及びこの定款により総会及び理事会に付与された権限を制約する運営を行うことはできない。

- (1) 緊急性の高い事案に関する事項
- (2) 本会の将来展望に関する事項
- (3) 会長からの発議事項
- (4) その他の協議事項

第35条

業務執行理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事及び事務長を構成員とし、次の事項について協議・検討する。なお、業務執行理事会は法令及びこの定款により総会及び理事会に付与された権限を制約する運営を行うことはできない。

- (1) 業務遂行の共有及び調整に関する事項
- (2) その他の業務執行権限内の事項

変更箇所: 定款への掲載と、総会や理事会の権限を制約するものではないことの明記が望まれるため、追加されました。

機関については他に、常設委員会(第36条)や事務局(第37条)も追加されています。

会員資格の得喪は、定款に必ず記載しなければならない事項です。理学療法士の皆さんの会員資格に関する規定なので、ぜひご確認ください。

Q. 会長に何かあったとき、どんな対応をするの？

A. 会長の選定権限は理事会にあると法律で定められていますので、実際に会長が欠けるなどしたときには可及的早期に理事会を開催して決定します。

その他の規程の改定ポイントは？

○総会議事運営規程

議事運営委員に専務理事を追加

本議題では、総会に関する情報を発信できる範囲についての意見交換が活発に行われました。SNS等、不特定多数がアクセス可能な場での情報発信には慎重な対応をお願いしていますが、会員のみを対象とした情報伝達は問題ありません。

○懲戒規程

懲戒委員会は審査を担う機関とし、除名(総会決議事項)以外の処分は決定者を会長に変更

連載

未来のために！一人ひとりのアドボカシー活動

このコラムでは、協会のアドボカシー活動を皆さんに紹介していきます。

アドボカシー活動とは「特定の立場や課題について、社会や意思決定者に働きかけ、理解・支持・制度的な改善を促す活動」とされています。第3回となる今回は、各省庁の施策や次年度事業において、理学療法士に関する予算を確保していくための重要な動きに焦点を当てます。

第3回

省庁への要望活動

■予算概算要求の流れ

各省庁での概算要求に向けた作業

各省庁が財務省へ概算要求(8月下旬)

閣議決定・国会での審議(12月下旬)

予算成立

〈関連記事〉

・2026年度(令和8年度)予算概算要求に向けての要望書を10省庁へ提出しました(2025年7月15日)
https://www.japanpt.or.jp/info/20250715_535.html



次回以降もアドボカシー活動について、できるだけわかりやすく解説していきます。

本会は、毎年6月から7月頃、各省庁の大臣や長官へ、翌年度の予算や施策に関する要望活動を行っています。なぜこの時期なのか、予算要望の意義やこれまでの成果などについて解説していきます。

各省庁が次年度に実施したい政策や事業に必要な経費の概算額をまとめ、財務省に提出する「予算概算要求」が例年8月末となっています。そのため、各省庁が次年度の事業計画を練り上げる前の6月から7月こそが、理学療法士の活用や予算拡大を計画案に盛り込むための「最大の好機」となります。理学療法士の価値向上に向けたチャンスは、この時期の仕込みから始まっています。

地道な予算要望などの活動の積み重ねは、確かな成果を結んでいます。2026年5月19日、厚生労働省内に「リハビリテーション統括調整室」が新設され、攻めの予防医療にリハビリテーションが明記されたことなどは、都道府県士会、学会連合と本会が連携をして声を上げ続けてきたからこそ実現した大きな一歩です。

一方で、実現に至らず、毎年出し続けている要望も数多くあります。本会はこれからも国民の健康増進と理学療法士の未来のため、決してあきらめることなく、要望活動を継続してまいります。

JPTA政策目安箱を設置しました！

理学療法士に関連する政策についてのご意見を募集しています。



以下のようなご意見が届いています。
・ロボットなどリハ機器の初期導入費が高く、補助金等の支援を要求してほしい。
・介護分野において、生活相談員等の要件に理学療法士も認められるようにしてほしい。



投稿はこちらから↑

<https://www.japanpt.or.jp/activity/procedure/#a3>



未来を拓く！理学療法士と政治活動

国政や地方議会で活躍する理学療法士や、連盟を含めいろいろな形で政治活動を行っている理学療法士に登壇いただき、業界を取り巻く様々な課題やその解決に向けた取り組みを紹介いただきます。



福永 裕樹

出水市議会議員。理学療法士免許取得後、鹿児島県曾於市、出水市の介護老人保健施設で約20年、理学療法士としてリハビリテーション業務に従事。退職後、2026年4月出水市議会議員選挙へ立候補、当選。資格は認定理学療法士(地域理学療法、管理・運営)、介護支援専門員、第2衛生管理、スポーツリーダーコーチを取得。現在、鹿児島県理学療法士協会理事として活動。

「勇気ある行動で現場の声を届ける。」これは、私が市議会議員選挙に挑戦する際に掲げた言葉であり、今も変わらない私の原点です。理学療法士となって約20年。リハビリテーションを通じ、介護や地域の現場で、多くの利用者さんやご家族、そして仲間たちと出会い、支えられながら歩んできました。日々の臨床の中で感じた喜びや課題、現場でしか分からない思いを、もっと地域や社会に届けたい。その気持ちから、政治への関心につながっていきました。振り返れば、政治との出会いも人とのご縁の積み重ねでした。協会・連盟の活動を通じて多くの先輩方や仲間と

出合い、学びを重ねることができました。今も若い世代の理学療法士がつながり、成長できる場づくりに携われることを大変うれしく感じています。そして今年4月、鹿児島県出水市の市議会議員として新たな一歩を踏み出しました。選挙期間中、多くの地域の方々とは対話を重ねる中で感じたのは、人と向き合い、相手の思いに耳を傾ける姿勢は、理学療法士として利用者さんと接してきた日々と何ら変わらないということでした。政治は決して特別なものではありません。一票を投じること、関心を持つこと、地域で実践を積み重ねること。その一つ一つが、私たちの職

域を守り、国民の健康を支える力になります。その積み重ねこそが、未来の理学療法、そして地域社会をつくる原動力になると信じています。



福永ゆうき公式サイト

<https://sites.google.com/view/fukunagayuki/top>





生涯現役



地域ケア・リハビリテーション研究所
グッドライフ・やまなし

藤本 欽也(ふじもと きんや)さん

1968年国立東京病院付属リハビリテーション学院卒業。現・医療法人甲州リハビリテーション病院(30年間)、老人保健施設(10年間)勤務。2008年「グッドライフやまなし」設立*、現在に至る。

*設立趣旨:「私たちは、リハビリテーションを理念とし、そのひとが、その人らしく、ゆたかに、生きることを、支援します。」



本コーナー「生涯現役」では、生涯現役で活躍する先輩から会員の皆さまへのメッセージを募集しております。
お問合せ先: JPTA NEWS担当

news@japanpt.or.jp



マイペース地域リハビリテーションの実践

私は徳島県人、1938年生まれ、青春時代10年間のブランク(肺結核による長期療養)を経て入学・卒業(同期29名、理学療法士17名・作業療法士12名)、各々青雲の志を抱き全国に、私は遠き山梨に、生まれ故郷よりはるかに長い年月在住。学生時代、故砂原茂一学院長ならびに諸先生・先輩にわが国初の開学における「蘭学事始めとしての衿持・薫陶」、同期生一同未知なる英語に悩まされながら切磋琢磨。「ホワイドンチュノー」、よく叱られました。地域における新しきリハビリテーション(以下、リハビリ)医療を掲げる病院勤務、故島津壽秀先生には先駆的、叱咤激励、熱きご指導を受けました。以後、私にできる地域のリハビリ支援を目指し、障害者支援施設、老健施設、医療クリニックでの非常勤等々。介護保険制度創設時に支援専門員資格取得(現在失効)、数年間広域行政区域介護認定審査会委員にモデル事業も含め参加。その他市町村の様々な事業のお手伝い。現在、医療クリニック・デイケア・小規模ショートステイ(20名弱)の少々危ないお手伝い。施設は超高齢化社会反映。百歳オーバーのセンチナリアン数名、平均

年齢90歳超、私など「若造」の部類。「あんた若いわねー」と横目で観られます。今般喜ばしい事柄。関係団体が「やまなし地域リハ・ケアの推進を考える会」発足。以来、リハビリ専門職団体協議会結成・活動。全国の先駆的事業。包括的地域リハビリ関連の横断的取り組みは我が国超高齢化社会の中「我田引水・唯我独尊」に陥ることなく、「地域共生」という課題に向かう「リハビリのあるべき姿」でしょう。

エピソード1つ失敗談、昔話:フォローアップ在宅訪問時。CVD左片麻痺患者。床の間に立派な靴型SLBが飾ってあった。苦心惨溜オーダーメイド製品。当事者いわく「先生、田んぼじゃ使えんだよ。これが一番」。見せてくれたのは「農作業用長靴」。うーん。参った。ごめん。山梨弁言う「ササラホーサラ・トンチンカン」。私の趣味はガーデニング(バラ等)、手作り食品(ジャム・チャーシュー等)、マイカードライブ(妻の買い物支援運転も)。現愛読書『人生後半にこそ読みたい秀歌』永田和宏著、之お勧め。これからも、前を向いて、己が自身のため「マイペース・リハビリ」。以上。

編集部注:ササラホーサラは「いい加減、めちゃくちゃ」などを意味する方言

登録理学療法士
更新
ポイント

コツコツ
学ぼう!

問題解答

登録理学療法士の更新ポイントの取得方法の一つに、JPTA NEWSの問題解答があります。全問正解で、1ポイント取得できます。登録理学療法士の方は、更新資料をご確認のうえ、以下の方法からチャレンジしてみてください。

〈紙冊子を閲覧している場合〉
会員専用アプリでQRコードを読み取ってください。申込期限は「10月19日」です。
〈QRコード読取ができない場合〉(WEB上で閲覧している場合など)
マイページから、セミナー番号で検索してください。(セミナー番号:152920)、申込期限は「10月18日」です。
※解答完了後、翌日中に履修履歴へ反映されます。

カリキュラムコード

108 栄養・代謝障害

解答期限は10月19日まで

登録理学療法士制度の概要はこちら ▶ <https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/registered/>

コツコツ学ぼう!登録理学療法士更新ポイントに関するお問合せは、本会ホームページFAQからお願いいたします。



INFORMATION

会員数 145,695名

2026年7月31日現在※休会者含む

ご登録内容に変更が生じた場合は、日本理学療法士協会(以下、本会)ホームページ内の【マイページ】へログインし、Web 申請にて各種手続きをお願いいたします。トラブル防止のため、電話・メール・FAX による各種申請は受け付けておりません。

〈参考URL〉 <https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/login>



マイページのご利用について

ログインID
パスワード(PW)の
再発行

マイページへログインできない場合は、マイページログイン画面下の「ログインできない方はこちら」より、ID・PWの再発行申請をお願いします。(注)お電話によるID・PWのご照会には行っておりません。
<https://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/mypage/system20002.html>



会員マイページ
専用アプリの
ご案内

本会では、会員マイページ専用アプリを提供しています。専用アプリでは、マイページへのオートログインやQRコード読取機能による研修会参加受付が可能になるほか、協会・士会からのお知らせがプッシュ通知で受信できます。ぜひ、アプリをダウンロードのうえ、ご活用ください。



<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newssystem/>

年会費割引制度について

本会では、「育児休業」「シニア」「海外会員」について年会費の割引制度を設けております。本会ホームページにて申請条件をご確認のうえ、対象となる方はマイページからお手続きください。※申請された翌年度の年会費に割引が適用されます。(～2/20まで)



理学療法士の方向けサイト > 協会からのお知らせ > 各種手続き > 年会費割引制度申請
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/06/>

クラブオフ 今回のおすすめ!

ルーム料金でいつでも飲み放題! 歌い放題!!
ジャンカラ・スーパージャンカラ
ルーム料金/1組様

ご利用の際には、
「日本理学療法士協会 クラブオフ」へ
登録・ログインください。
◎その他サービスの詳細はWebで検索



20%OFF

※他の割引との併用不可



理学療法士 クラブオフ 検索

協会運営に関するご案内

●2026年7月4日(土)に2026年度第3回理事会が開催され、8月1日(土)に学会運営協議会、2026年度第4回理事会(臨時)、2026年度第2回理事懇談会が開催されました。理事会抄録については、会員限定コンテンツよりご覧ください。



会員限定コンテンツ > 協会運営・資料一覧 > 総会・理事会等資料 <https://www.japanpt.or.jp/privilege/management/minutes/#title02>

●今後の予定 ・2026年9月5日(土):第3回理事懇談会、9月6日(日):都道府県事務局長会議
・10月3日(土):第5回理事会、10月4日(日):組織運営協議会

異動申請について

所属施設・自宅住所等の会員登録内容の変更は、本会ホームページの手続案内をご確認のうえ、マイページからお手続きください。

※施設情報の変更は、施設会員代表者または施設会員代表者代理に割り当てられた方が行ってください。
((マイページ)▶【登録内容の変更・確認】▶【施設情報管理】)
※海外会員に登録される場合は、会費の支払い方法について確認させていただきますので、事前に本会事務局へご連絡ください。

理学療法士の方向けサイト > 協会からのお知らせ > 各種手続き > 勤務先・自宅住所・氏名等の変更
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/01/>



休会・復会・退会申請について

会員区分の変更は、本会ホームページにて各種手続きをご確認のうえ、マイページからお手続きください。

※休会を継続する場合、1年ごとの申請が必要です。手続きがない場合は規定により退会となります。
※退会後、生涯学習履歴・取得資格は無効になります。また、納入済みの当年度年会費はご返金いたしかねます。
※2027年度の休会申請より、運用を変更いたします。詳細は、「休会制度の運用変更について」をご確認ください。

理学療法士の方向けサイト > 協会からのお知らせ > 各種手続き > 休会申請
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/02/>

休会中、退会後は、以下の権利が停止となります。

- 各種研修会・学会等への会員価格での参加(非会員理学療法士と同様の対応となります)
- 役員候補者選挙および代議員選挙の選挙権、被選挙権
- 各種学会への無料での演題登録
- 理学療法士賠償責任保険への加入(全員加入・任意加入)
- 会報誌「JPTA NEWS」の発送

理学療法士の方向けサイト > 協会からのお知らせ > 各種手続き
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/>



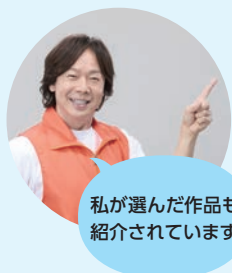
※Web環境がない場合、手続きについては本会事務局(TEL:03-6804-1421)へお問い合わせください。

\ HOT TOPICS /

第14回「笑顔をあきらめない。」 写真コンテスト結果発表!

今回は106点のご応募をいただき、7点の作品が受賞となりました。受賞作品の中には、コンテスト初の外部審査員となる佐藤弘道さんが選ぶ「外部審査員賞」も!

なお、理学療法の日特設サイトでは、受賞作品をエピソードとあわせて紹介しています。ぜひご覧ください!



私が選んだ作品も
紹介されています!



最優秀賞 【タイトル】笑顔の挑戦
【作者】鈴木大翔の母

理学療法の日トップページ > 「笑顔をあきらめない。」写真コンテスト >

第14回「笑顔をあきらめない。」写真コンテスト

<https://www.japanpt.or.jp/rigakuryohonohi/photocon/14/>



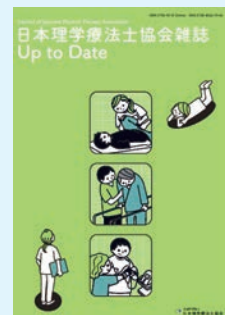
日本理学療法士協会雑誌 Up to Date NEWS

【第4巻第3号発刊!】

今号の特集記事は「卒後教育」です。発刊は8月20日(木)を予定しております。

【協会雑誌 問題解答について】

全問正解で登録理学療法士の更新ポイント(1ポイント)付与されます。



第4巻第3号の問題のカリキュラムコード 172 キャリアデザイン
解答期限は2026年11月19日(木)まで

※会報誌「JPTA NEWS」の問題回答(14ページ掲載)とは別のものです。
雑誌は本会のマイページから閲覧ください。

マイページ > 会員限定コンテンツ > 生涯学習支援 >

日本理学療法士協会雑誌 Up to Date

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/lifelonglearning/uptodate/>



政策活動レポートのページを リニューアルしました!

協会HP内の「政策活動レポート・要望等」のページでは、本会の政策活動に関する情報を写真付きでタイムリーにお届けしています。

また、JPTA政策目安箱を設置し、理学療法ならびに理学療法士に関連する政策について、会員のみならず国民から広くご意見を募集しております。お寄せいただいたご意見については、今後の本会の政策活動や事業の参考にさせていただきます。



トップページ > 協会の取り組み >

政策活動レポート・要望等

<https://www.japanpt.or.jp/activity/procedure/>



がんのリハビリテーション研修会 2026年度第3期受付のお知らせ

「がん患者リハビリテーション料」算定に関わる本会主催の「がんのリハビリテーション研修会」について、下記にて第3期の研修会受付を行います。奮ってお申込みください! 詳しくは本会ホームページ掲載の開催概要をご確認ください。

〈第3期申込受付〉2026年10月1日(木)~10月15日(木)

〈第3期受講期間〉

eラーニング視聴期間:2026年12月1日(火)~2027年1月31日(日)

グループワーク:1回目:2027年2月14日(日) 2回目:2027年2月28日(日)

理学療法士向けトップページ > 講習会・研修会 >

がんのリハビリテーション研修会

<https://www.japanpt.or.jp/pt/seminar/browse/05/>



マイページ(会員限定コンテンツ)へのアクセスはこちらから

※会報誌/バックナンバーもご覧いただけます。

※紙媒体の会報誌が届いていない方はHPお問合せよりご連絡ください。

会員限定コンテンツ > JPTA-Topics > バックナンバー

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/topics/backnumber/>



公益社団法人
日本理学療法士協会
Japanese Physical Therapy Association



公式X



公式Facebook



公式Instagram



リガクラブ

公益社団法人 日本理学療法士協会 会報誌 号数:No.362

発行日:2026年8月20日

発行人:公益社団法人 日本理学療法士協会

〒106-0032 東京都港区六本木七丁目11番10号

TEL:03-5843-1747 FAX:03-5843-1748

代表:斉藤秀之

編集:日本理学療法士協会 事務局

本会HP:<https://www.japanpt.or.jp>

HPやSNSで日々情報発信中!ぜひフォローをお願いします!

